



大野一心

NO.18

令和5年6月28日(水) 文責：校長 諸熊 修一

嬉しい出来事！

今週の月曜日の朝に事務主査の松村さんから、「校長先生、このようなFAXが届いていましたよ」と、一枚のFAXをいただきました。文章を読んでみて、とても心が温かくなり、全校生徒にもすぐに知らせたいと思い、給食の時間の放送を使って、紹介しました。このような生徒が本校にいるということを、校長として誇りに思います。また、わざわざ学校にまで報(しら)せていただいた「桜木町の住民」の方にもお礼を申し上げます。ありがとうございました。

以下に紹介します。



大野中学校 校長先生

こんにちは。私は桜木町に住んでいます。
今日は、校長先生にお伝えしたいことがありご連絡差し上げました。

3か月ほど前、飼っていた猫が逃げ出してしまい、家族一同大変悲しみ、コンビニエンスストアやマックスバリュに「探し猫」ポスターを貼らせてもらったり、小さなチラシを近所のおうちのポストに入れさせてもらったりしました。時間帯を変えて探し回ったり、家の周りに餌を置いたりしましたが、まだ帰ってきません。雨が降ると、濡れて風邪をひいていないか心配になり、怪我をしていないか、おなかを減らしていないか、考えると悲しくなります。

もともとは、保護猫だったのを譲渡会でもらってきた猫でした。
捨てられていた猫の命を救いたいと思って飼いだめたのに、その猫を不注意で外に逃がしてしまい、後悔する日々でした。

ある日、知らない電話番号から私のスマートフォンに電話がかかってきました。
「探し猫」のチラシを見て、電話をかけてきてくれた大野中学校の生徒さんでした。

「ポスターを見て電話しました。デイリーストアの近くで、似た猫を見かけたので…」

という電話でした。写真も撮ってくれていたようでした。
藁にもすがる思いで探していた猫の情報だったので、とてもありがたい連絡でした。

その後、見かけたと教えてくれた場所あたりを探しましたが、残念ながら、まだ見つかっていません。
だけど、電話をくれた生徒さんは、逃げ出した猫の「命」のことや、猫を探している私たち家族の心配する気持ちを汲み取ってくれて、勇気を出して電話をしてくれたのだと思います。

とても素晴らしい生徒さんだと思い、校長先生にも一言お伝えしたくてご連絡差し上げた次第です。
6月は「命」を見つめる強調月間ですが、そんな6月にこのようなありがたい行動を起こしてくれた生徒さんに感謝します。

桜木町の住民より